

クロダイによる養殖ノリ食害対策に関する研究

ノリ養殖生産の安定化を目指して

【背景・目的】

近年、クロダイによる養殖ノリの食害が問題となっているため、建網を用いたクロダイの漁獲を試行するとともに、養殖施設の防護網の食害防止効果とクロダイの来遊状況を調査しました。

【成果の内容】

1. 建網によるクロダイの漁獲試験

2022年12月に倉敷市地先のノリ養殖施設周辺の6地点で建網を24時間設置し(図1)、各地点1回の操業で、計24尾のクロダイが漁獲されました(図2)。クロダイは全長27~44cmと大型が多く、多量(魚体重の2~8%)のノリ葉体を食べていました(図3)。

一方、1操業あたりの漁獲尾数は最高9尾で、24尾中10尾にヨコエビ類等の食害による商品価値の低下が見られました(図4)。

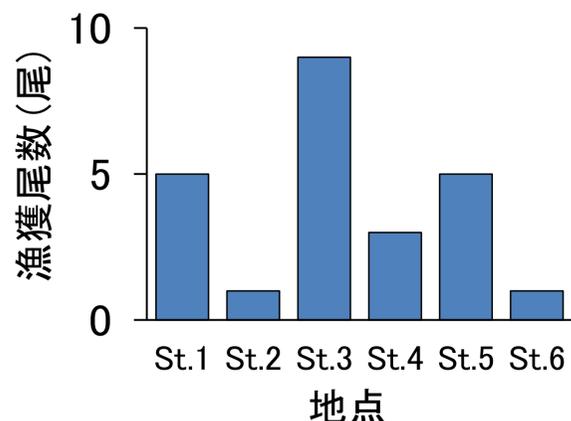
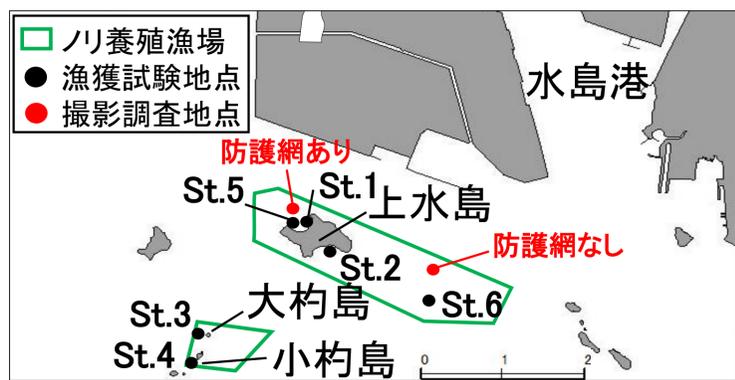


図2 地点毎のクロダイ漁獲数

図3 漁獲されたクロダイと消化管内容物

図4 ヨコエビ類等による食害

2. 防護網の食害防止効果調査

2022年12月3~6日の間、カメラによる撮影調査を行いました。防護網(図5)を設置したノリ網ではクロダイが確認されませんでした。防護網のないノリ網では計141尾のクロダイが来遊し、食害が確認されました。また、クロダイは満潮や干潮付近の潮流が緩やかな時を中心に来遊する傾向がみられました(図6)。

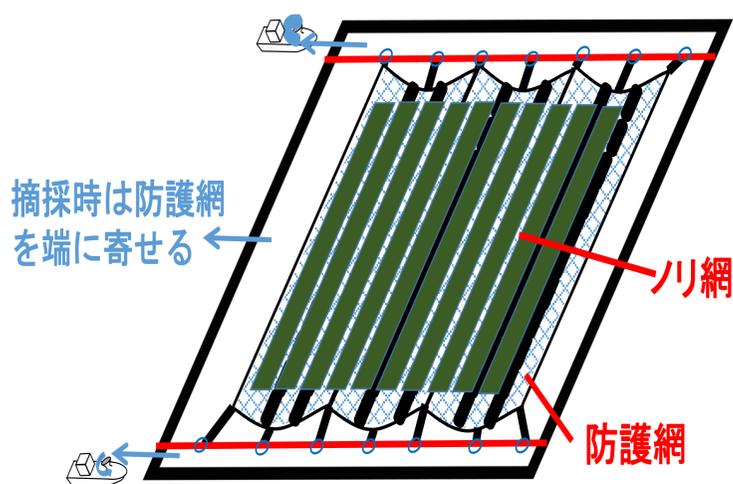


図5 防護網の模式図

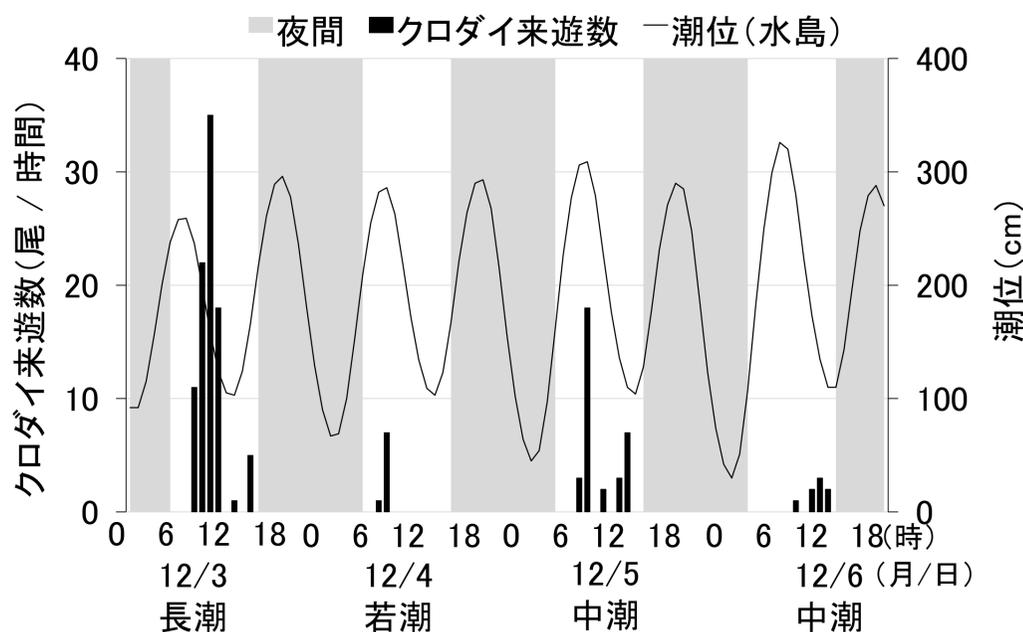


図6 防護網非設置区のクロダイの来遊数と潮位(水島)

建網によるクロダイの漁獲は経済的な観点から現実的ではありませんでしたが、防護網の食害防止効果は高いと考えられました。

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター 水産研究所
瀬戸内市牛窓町鹿忍6641-6 TEL. 0869-34-3074